

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690700010
法人名	社会福祉法人 愛誠会
事業所名	グループホーム 芦穂の里
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大熊字名浜1309番地3 (電話) 0997-57-7705
自己評価作成日	平成27年11月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年12月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者本人の個性を尊重し意欲や興味をひきだします。
- ・ホームの立地条件を活かし地域行事等に積極的に参加する事が出来る様に支援している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは利用者全員で足の屈伸運動やイスに座ってかかとの上下運動などを毎日のレクリエーション時に行っている。
- ・利用者はラジオ体操や筋力アップの為の運動、利用者の家族からの提供の脳活性化の歌や体操・運動などを取り入れており、利用者は元気になってきている。
- ・職員は毎週、日曜日に事業所の自動車で歩行困難な利用者も個別にドライブに誘い、近隣の名所見物や大熊展望台で森林浴などを楽しんでいる。
- ・縫い物が好きな利用者の思いを大切に、近隣の保育園や小学校との交流時に、利用者の手作りの雑巾をプレゼントして園児や児童から喜ばれている。
- ・職員のアイディアで居室の出入り口に利用者の笑顔写真や名前の上に季節毎の飾りの表札で家族や来客を出迎えている。
- ・利用者の身体の重度化や医療行為に移った時に母体施設に入所できるようグループホームの入居の申し込み時に母体施設の入所申し込みも一緒に行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>住み慣れた地域で、その人らしく毎日を安心して暮らしていけるように理念を作りたい。</p>	<p>事業所独自の理念をカンファレンス時に職員全員で唱和し共有している。職員は理念に掲げている利用者が安心して穏やかに過ごせることを常に心に留め、食事やお茶の時間・レクリエーション・ゲーム提供時・散歩等、あらゆる場面で利用者の側と一緒に過ごすよう心がけて実践に繋げている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会、地域行事（夏祭り、モチモレ踊り、敬老会）に参加して声を掛け合うなど日常的な関係作りができています。</p>	<p>自治会に加入し、自治会主催の敬老会や夏祭り等の行事に利用者と一緒に出かけ、地域住民との会話を楽しんだり、奄美特有のモチモレ踊りを事業所に来てもらってみんなで楽しめるよう支援している。地域内外の小・中学校の職場体験学習の受け入れや認知症の家族からの相談・見学受け入れなど地域の一員として日常的に交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>ホームに相談にいらっしゃる方達の話しを聞いたり、実際にご本人さんも一緒に過ごして頂きながら支援の方法など細かく説明してサポートしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>検討事項や勘案事項についてその経過を報告して、メンバーから率直な意見をもらいサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催し、災害避難訓練時の意見や提案が出され、火災や災害の避難時の件やオール電化の安全性・台所の入口に鍵の取り付け・地域住民との連携の必要性など、出された意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市の主催する研修会や市内の事業者が集まる会議に参加して連携を密に取っている。</p>	<p>市の担当者とは介護保険関連の書類を届けた時に事業所の運営や利用者の実情などを報告し適切なアドバイスを得ている。メールや電話等でも連絡を取り合っ情報共有している。市主催の研修会に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ミーティングや日々の申し送り時等で、その日のケアを振り返り、気付かないうちに言葉の拘束や利用者の抑圧感を招いていないか点検している。</p>	<p>2ヶ月に1回、母体施設で身体拘束委員会を開催し利用者への言葉の拘束や虐待等の勉強会を行い、各職員にも伝達し情報を共有している。外出を好む利用者へは職員の連携で一緒に付き添ったり後ろからついて見守りする等、施設内外を自由に散歩できるように支援している。転倒予防に毛布に鈴を付ける工夫も行っている。日中の玄関の施錠は行っていない。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。	勉強会やミーティングを実施し高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度の研修に参加し職員へカンファレンスにて説明しました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に契約重要説明事項に添って説明を行い、理解を頂き納得を得ている。又、起こりうるリスクの重度化や看取りについての対応方針、医療連携体制の実際などについて詳しく説明して同意を得る様になっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族に毎月10日頃近況報告をし、訪問時や電話にて何でも言って頂ける雰囲気作りをしています。出された意見、要望等はその都度職員へ伝え次の支援へ反映させています。	利用者からは日々の暮らしの中で思いを聴いている。家族からは衣類の整理の依頼や洗濯物のたたみを利用者にしてもらう等の提案が出され、家族が脳活性化に繋がる頭の体操や歌を提供し、利用者全員で食前やレクリエーション時に職員と一緒に歌や体操を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>利用者の日常的な関わりの中で生まれる職員の気づきやアイデアをミーティングや勉強会を行い意見を聞き反映させている。</p>	<p>職員の提案でテラスや玄関入口にトマト等の家庭菜園を作り水かけや採取等の楽しみを支援したり、エコノミークラス症候群に対する予防訓練の対策や利用者の朝の起床時間に合わせ、早朝の出勤を2人体制に調整し見守りを強化する事で転倒リスクを回避する等、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は本人の意向を重視しながら職場内で活かせる環境作りを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間に行われる外部研修の情報を収集し職員の勤務体制の調整を図りなるべく多くの職員が受講できるように計画している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大島地区グループホーム協議会、群島施設連に加入し研修や勉強会に参加し交流を行っている。計画作成担当者は定期的に事例検討会がおこなわれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いや不安を受け止め安心してもらうことから始めています。サービスの開始については心身の状況や本人の思いに向き合い、職員が本人に受け入れられるように関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に話し合いの場を提供する事でご家族の意向を聞き、何を求めて、必要と感じているのか理解し適切な支援が出来る様に関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思い、状況等を確認し改善に向けた支援の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら必要なサービスに繋げるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する側、「される側」という意識を持たず、お互いが協働しながら、穏やかな生活が出来る様に声掛けや場面作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族に負担感を与える事の無い様に配慮し行事や家族会等に参加して頂き共に時間を共有する事でご家族、本人、職員が一緒に過ごす事で信頼関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの商店街や自宅周辺など身近な場所へのドライブなどを計画し実行できるようにしている。</p>	<p>親族の新築祝いやお悔やみ・通夜への参列、墓参り等、大切にしてきた馴染みの人や場との関係が途切れないよう支援している。利用者の友達が頻繁に面会に来て会話を楽しんだりしている。携帯電話を所持し、好きな時間に家族との通話を楽しんだり、遠方の家族への電話の取次ぎを行ったりしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>必要に応じ職員がサポートする事で利用者同士の会話が弾むようにし孤立しないように座席のセッティング、レクリエーション等を工夫している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>新しい生活の場所でもこれまでの暮らしの継続性が損なわれないように生活環境、支援内容、注意点等を細かく情報提供し不安を与えない支援を心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で思いを引き出すように心掛けている。意思疎通の困難な方については行動や表情等から検討している。	日常生活の中で利用者が塗り絵や散歩中に見つけた野の花を飾ること・裁縫の好きな利用者には雑巾を縫って小学生や保育園児との交流会の後にプレゼントしたり、旅行や温泉に行きたいなどの思いをファイルや気づきノートに記録し職員で共有し、家族にも思いを伝えている。困難な場合は本人の仕草や行動・家族や友人からの情報も得て本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に生活歴や暮らしの状況をご家族やサービス事業者の方達から聞き取りアセスメントする事で普段の生活を知る事ができる。入所後は本人の言葉に耳を傾け情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	サービス提供記録、ケース記録を職員で共有し健康状態、睡眠や排泄パターンを把握し表情や口調、意欲や興味、力量等全体的に把握するように努めている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンス、申し送り時に職員全員で意見交換を行い計画作成担当者一人の視点に偏らないようにしプランの見直しも検討している。また、主治医と定期的に情報交換を行い日常生活上の助言を頂いている。</p>	<p>カンファレンス時に職員全員に聞き取りをして、気になる利用者には毎月1回話し合いを行い、家族の面会時にも要望や意見を聞き介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回行っており、状態変化がある時にはその都度家族に連絡を行い、計画を変更するなど臨機応変に対応している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録はケアの実践、結果、本人の発した言葉やエピソード等ケアする上で工夫した事、気づき等が自由に記録できるスタイルにし全員で共有しケアに繋がっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、ご家族の意見を参考に状況に応じ故郷訪問等を計画しドライブや外食等を計画し支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域行事への参加、ボランティアの活用。神父様の定期的な訪問等を支援している。自治会長民生委員、消防団の方達と情報交換する事で安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来る。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、ご家族の希望に応じ元々の医療機関に継続して治療が受けられる様にしている。他科受診については紹介状を頂き適切な医療が受けられる様に支援している。</p>	<p>本人や家族の希望のかかりつけ医で受診ができる様支援している。家族の付き添いで受診し、必要に応じて職員が対応する事もある。薬の変更があった時や受診結果などはお互いに報告し合っている。緊急時は救急搬送依頼後、家族にも連絡し職員も同行している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>申し送りや記録等で報告し、状況に応じて電話連絡を行い異状の早期発見、迅速な対応が出来る様にしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に病院側から病状説明を受け、普段の生活状況、ケアの情報提供を行い早期退院に向けてアプローチを行っている。退院時はカンファレンスを行い医療機関より療養上の留意点のアドバイスを頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のあり方については契約時に家族の意向を聞いた上でホームの方針を説明し話し合いを行っています。必要に応じ書面にて同意を頂いています。</p>	<p>重度化や終末期のあり方については入居時の早い段階で話し合い、医療行為になった時点で母体施設に入所できる事も併せて説明している。医療行為以外の看取りについては受け入れている。かかりつけ医と常に連絡を取り合い、家族の協力も得て職員・医療関係者全員で情報を共有し連携を図りながら利用者が安心して最後を迎えられるよう支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導のもと、定期的に心肺蘇生法、救護法の訓練を行っています。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得ながら地域の方々にも参加して頂き避難訓練、情報伝達訓練を行っている。</p>	<p>火災避難訓練を年2回昼・夜間想定で消防署指導のもと、火災通報装置も使用して実施している。近隣住民には事前に伝えて協力してもらっている。避難場所は地域の公民館や小学校等である。災害時の食料や飲料水・オムツなどを備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重を重視し、本人の気持ちを逆なでしないように言葉使いなど十分に気をつけ誇りやプライバシーを傷つけ無い様にさりげないケアの提供をします。	利用者プライバシーの確保についての研修を年1回行っている。利用者との会話の中で馴れ合いの言葉かけに気づいた時は即注意している。先輩職員が新人職員に注意する事もある。ホールや人前でのトイレ誘導は耳元でこっそり声かけしたり工夫した言葉かけで、さりげなく誘導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合せた声掛けをし些細な事でも本人が意思決定できるように日頃より職員全員で配慮しています。困難な方には表情を読み取る様にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のサインを読み取り、テレビ鑑賞等本人のペースに合わせて個別支援に努めています。しかし、入浴や行事等スタッフの都合で決めている事もすくなくない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2ヶ月に1回、美容室の方をお願いしてカットを提供しています。本人のこだわっているスタイル（帽子、スカーフ）を把握しその人らしさを保てるようお手伝いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材に旬の物を取り入れ食事の時に声掛けして興味を引き出しています。職員と一緒に食べる事で好みの調理方法も自然とお話しされ楽しむ事が出来ています。</p>	<p>利用者得意の豚みそ作りを職員に教えながら一緒に作ったり、野菜の繕いやお盆拭き・食事の後片付けなど個々の力量に応じて自発的に行う等職員と一緒に楽しみながら行っている。外食の楽しみも支援しており、利用者から要望があった時外食を楽しむ事で食欲増進に繋がった事もある。おやつを持ってドライブに出かけ戸外でのお茶やおやつを楽しめるよう支援している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>サービス提供記録から食事量、栄養バランス、水分量を確認し必要に応じて食事形態、食器を工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアは一人ひとりその方の力量に応じて見守り、仕上げの介助を行っています。必要時歯科往診にて支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尊心に配慮して身体機能に応じた支援をしている。日中、歩行介助を行いながらトイレでの排泄をうながしています。側に職員が付いている事から安心して自立支援に繋がっています。	歩行可能な利用者はリハビリパンツや尿取りパットを使用しトイレでの排泄を支援している。車椅子の利用者は尿取りパットを交換する等、排泄の自立支援に向けた支援を行っている。食後に声かけや排泄パターンを把握して利用者個々の時間に声かけする等、自立支援に向けて個別の排泄支援を行っている。夜間帯は利用者が鈴を鳴らしポータブルトイレでの排泄介助を支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンをサービス提供記録から読み取ることで便秘の方には、十分な水分補給と繊維質の多い食材を提供する様になっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	現在は2回/週と決めています。入浴必要時は随時対応しています。入浴を拒む方に対して言葉かけや対応の工夫をして一人ひとりに合せた援助をしています。	入浴は週2回午後より支援しているが、朝風呂も対応している。利用者の好みのシャンプーやリンス・ボディシャンプーを持ち込んで入浴が楽しめる様支援している。入浴拒否の利用者には入浴時間をずらしたり、曜日を変えたりする等の工夫を行い、入浴を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	日中の活動を促し、生活リズム を整える様に努めています。一 人ひとりの体調や表情、希望等 を考慮してゆっくり休息がとれ るようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	その都度、処方箋にて確認しな がら配薬し責任を持って本人に 手渡しきちんと服薬できている か確認している。薬の変更があ る時は申し送り簿にてできてい る。症状変化が見られる時は協 力医療機関との連携が図れるよ うにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活暦 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている	一人ひとりの得意分野を活かし 役割分担して洗濯物の干し方、 たたみかた、食器拭き、新聞折 り等を組み入れ、感謝の気持ち を伝える様にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるように支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	希望に合わせて四季を感じられ るドライブに誘い、歩行困難な方 も車椅子を利用し戸外へ出かけ られる様に支援しています。本 人の希望により自宅へ立ち寄り こともあります。	日常的にはテラスで栽培のトマ トの成長を眺めたり、園庭に植 えてあるオクラ等の野菜を見な がら日光浴や散歩を行っている。 車いすの利用者もテラスでの日 光浴を行っている。毎週日曜 日はドライブを予定している。 月2回花見がてら定期受診の 帰りに外食やドライブ・母体施 設に出かけて入所者との交流を 楽しんだり、遠出して大浜海岸 に出かけ海を眺めたりして楽し んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理はご家族ごとに様々な意向があり、本人の安心や満足に向けて少額でも所持金を持って頂ける様にご家族と相談しながら支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時いつでも電話をしやすい雰囲気作りを常日頃から心掛け定期的にご家族とのやり取りが出来る様に支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアの壁にイベントの写真を飾る事でお互いに会話が生まれ居心地よく過ごす事ができています。</p>	<p>共用のホールは多目的テラスからの日差しが入り、明るく広々としており、リハビリ体操やゲーム・レクリエーション・馴染みの島唄や懐かしい歌謡曲等を職員と一緒に聞き楽しんでいる。テレビの前に移動できるソファやベットが置かれ、利用者同士や職員と一緒に会話やテレビを楽しんでいる。通路の壁には利用者手作りの貼り絵や塗り絵が飾られ、脳活性化にも活用している日めくりカレンダーも備えられて居心地よく過ごしている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者同士の関係性等に配慮してセッティングする事でお互いぶつかりあう事もなく穏やかに過ごされています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンスや仏壇、写真や思い出の品々が持ち込まれ、居心地の良さを確保する事が出来る様に配慮しています。</p>	<p>居室は使い慣れた家具や寝具類・仏壇を持ち込んで、朝・夕、手を合わせる利用者やテレビやラジオ等で好きな時間に好きな番組を楽しんでいる。利用者が描いた塗り絵を室内に飾ったり、利用者の趣味である大正琴を持ち込んでホールで演奏する等、本人が居心地よく過ごせるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人が自然に溶け込める居場所の環境整備を職員で話し合い危険性を一番に取り除き本人の不安や混乱が起きないように自立支援に努めています。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない